

2017年国連インターネットガバナンス

フォーラム(IGF)に向けた最新動向

Kenta Mochizuki, *Attorney at Law (New York)*

Public Policy, Corporate Intelligence

Yahoo Japan Corporation



■ インターネットガバナンスフォーラム(IGF)

- ・2005年の世界情報社会サミット(WISIS)・チュニス会合の結果、**国連の下**に設置
- ・2006年以降**毎年1回**開催
- ・2015年12月「WISIS成果の実施に関する全体総括レビュー・ハイレベル会合」の結果、**さらに10年間、IGFが毎年開催**されることに決定
- ・世界各国の利害関係者がインターネットに関する公共政策課題を議論
- ・参加者は**毎年2,000人**以上

■ マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)

- ・国連事務総長が設置した「**プログラム委員会**」
- ・IGFの**プログラム**や**スケジュール**に関し事務総長に助言
- ・定期的に会合を行い数百にもおよぶ**プログラムの選考等を実施**
- ・MAGは**世界各国からの55名の代表メンバー**によって構成
- ・2017年現在の議長は**Lynn St.Amour氏**



2017年国連IGFの概要

■ 2017年国連IGF:開催概要(※2017年7月現在)

開催期間	2017年12月18日～21日（17日：Day 0）
開催地	スイス・ジュネーブ（国連ジュネーブ事務局（UNOG））※ホスト国は スイス
メインテーマ	“Shape Your Digital Future!”
準備状況	<ul style="list-style-type: none"> ①ワークショップ提案書の審査完了（結果はこちらをご参照）※マルチステークホルダー。 ⇒6月12日～14日の第二回IGF/MAG会合で最終審査実施 ②オープンフォーラム提案書審査中（詳細はこちらをご参照）※政府・国際機関等中心。 ⇒6月29日まで提案書受付 ③7月21日まで募集：プレイベントの提案 (Day 0) および IGF Villageでのブースの設営
今年の傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマは、参加型・将来志向といったアプローチを強調 ・281件のセッション提案書が提出、265件が二次審査（MAGによる書類選考）へ ・セッション提案書の60%以上が市民社会の提案者から提出 ・メインセッションは4テーマ（Cybersecurity, Gender, Digital Economy, Technical Subject）に ・国別・地域別イニシアティブ（NRIs）の参加を強化（メインセッション+ワークショップ）

2017年国連IGF:これまでの経緯(1)



■ 会期間活動の議論から2017年国連IGFの議論へとシフト

【MAG会合】

- ・第一回:3月 2日～ 3日
- ・**第二回:6月12日～14日**

【MAG電話会議】

(※8時間毎のローテーション)

- ・第一回:3月14日
- ・第二回:3月28日
- ・第三回:4月11日
- ・第四回:4月25日
- ・第五回:5月 9日
- ・第六回:5月23日
- ・第七回:6月 9日
- ・**第八回:7月 5日**

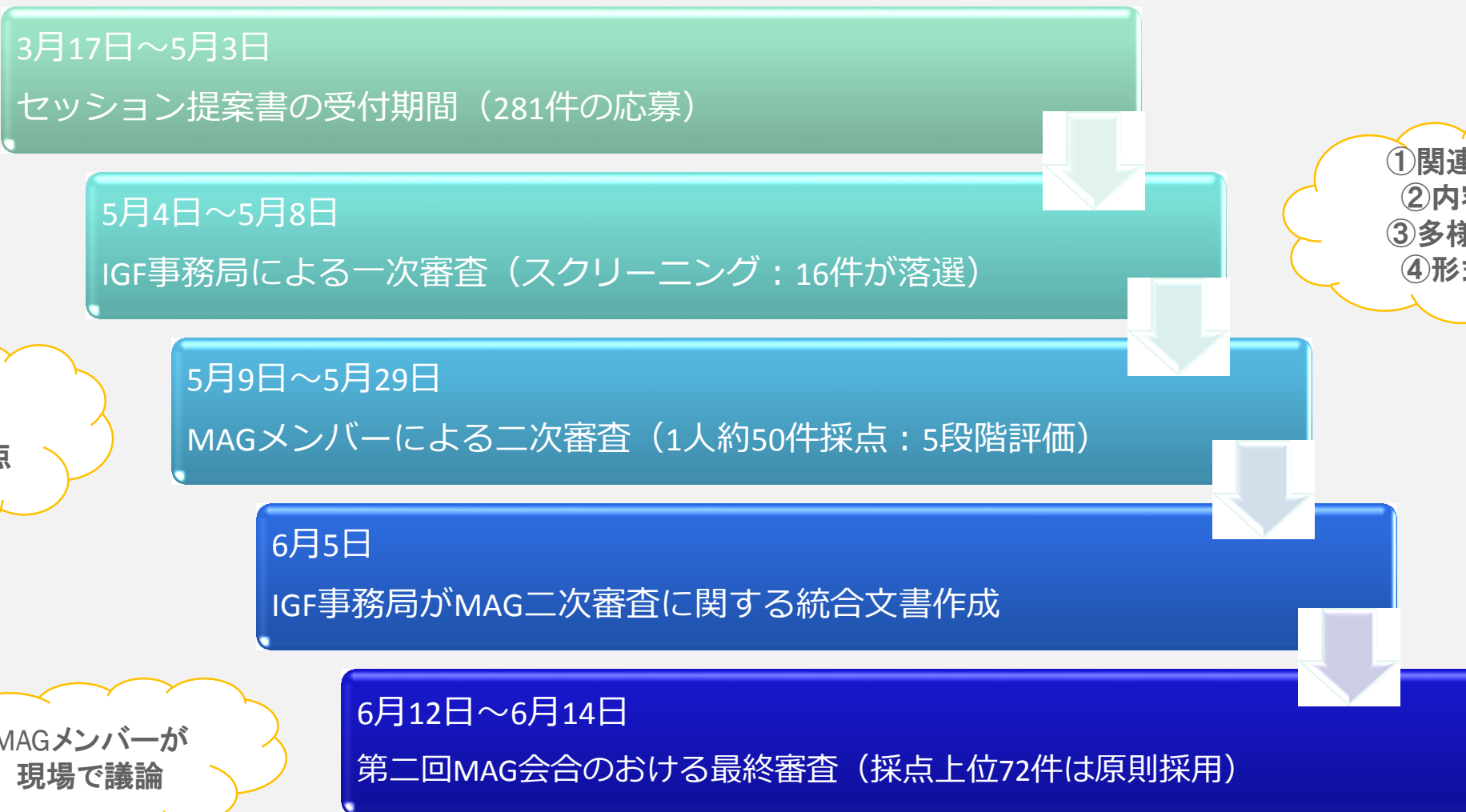
＋α。
メーリングリスト
を通じた議論

【IGF Geneva 2017:“Shape Your Digital Future!”】

・12月18日～21日@スイス・ジュネーブ

2017年国連IGF:これまでの経緯(2)

■ ワークショップ提案書の審査に関するこれまでの経緯



2017年国連IGF：第二回MAG会合(1)



■ 第二回MAG会合：開催概要

開催期間	2017年6月12日～14日（12日：オープンコンサルテーション）
開催地	スイス・ジュネーブ（国際電気通信連合（ITU）本部）
アジェンダ	https://www.intgovforum.org/multilingual/content/igf-2017-second-open-consultations-mag-meeting-0
主な議題	<ul style="list-style-type: none">①ワークショップ提案書の最終審査（「Wild Cards」プロセス，各種不均衡の調整等）②メインセッションの構成・提案書の審査（スイス政府の提案，7つの提案書の審査）③国別・地域別イニシアティブ（NRIs）（メインセッションとテーマ別ワークショップの検討）
結果概要	<ul style="list-style-type: none">①ワークショップ提案書の最終審査完了⇒結果の公表（Waitlistの②メインセッションの構成・提案書の審査⇒7/5の電話会議へ③国別・地域イニシアティブ（NRIs）⇒7/5の電話会議へ

☆サマリー・レポート
は[こちら](#)。

2017年国連IGF: 第二回MAG会合(2)

■ 6月12日(初日): オープンコンサルテーション (利害関係者の意見聴聞)

冒頭の挨拶

① Houlin Zhao・ITU事務
総局長

② Michael Moller・国連
ジュネーブ事務局長

③ スイス政府(Thomas
Schneider大使、Jorge
Cancio氏)
⇒ IGF Geneva 2017に関する
[新しいホスト国のウェブ
サイト](#)を紹介

セッション提案書 審査の進捗状況

① ワークショップ提案書
の二次審査(MAG採点)
結果と今後
⇒ 採点上位72件を当選
(想定枠は80スロット)、
残り8スロットを議論

② 提出されているメイン
セッション提案書の紹介

会期間活動の 進捗状況

① ベストプラクティス
フォーラム(BPFs)

② 「次の数十億人による
インターネットへのアクセ
スを実現するための政
策」フェーズ3(CENB III)

③ ダイナミックコアリス
ション(DCs)

国別・地域別
イニシアティ
ブ(NRIs)報告

Japan IGFを
評価する報
告!!

2017年国連IGF: 第二回MAG会合(3)



- 6月13日(2日目):MAG会合 (MAGメンバーによる議論)
⇒ワークショップ提案書の議論(採点上位72件+残り8枠)

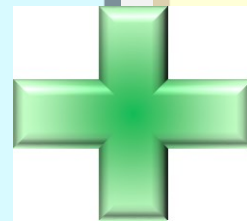


①いわゆる「Wild Cards」プロセス

・「ホットピック」で内容が良いにもかかわらず、上位72位に入らなかったものを各MAGメンバーがピックアップ

・MAGメンバー1人につき1件?
しかし...

・提案されたワークショップ提案書を一
つずつ検討



②不均衡の是正(セクター別)

・一部のMAGメンバーから、採点上位72件のセクターや地域に偏りがあるため、是正すべきとの声

・「Wild Cards」に加えて、上位72位に入っていない (1) 政府・国際機関の提案書、(2) 少数地域(中東・北アフリカ地域(MENA)、小島嶼開発途上国(SIDS)、アジア太平洋地域(APAC))の提案書を一
つずつ検討

【参考】①Wild Cards & ②不均衡の是正として取り上げられた提案書

Not	Rar	ID	Proposal
Carol	77	12 (APR/Newcomer)	Social Responsibility and Ethics in Artificial Intelligence: An East-West Dialogue
Panel	73	184 (APR/Newcomer)	Surveillance from the Margins
Jac SI	86	8 (APR)	Open Source: Defending Freedoms in the Digital Future
Clarity	140		6 Collaborative Community Development Program Learn IG Promoting Youth on the Table
		81	107 Out of my Hands?
		82	160 Policy and technology approaches for expanding broadband to rural and remote areas
		89	129 (APR) Making artificial intelligence (AI) work for equity and social justice
		97	200 Two Networks Will Shape Your Digital Future
		104	133 (APR) Governance Innovation in the Age of Sharing Economy
		105	134 Blockchain as fact checker: the solution for fake news?
		109	191 Public Policies to deploy IPV6 in developing countries. Successful International Experiences
		134	79 (APR) Digital Economy 2.0: The rise and challenge of platform economy
		142	48 The Future of Internet Identifiers: How the DNS will Function in a Smart Cyberspace?
		149	238 (MENA) Local Content: an opportunity for underserved regions
		162	4 (SIDS) Small Island Developing States (SIDS) Roundtable: Are we running out of resources & bandwidth?
		171	251 Fast Tracking Digital Dividends for Women in CASA
		176	170 Contextualising IPv6 within the Internet of Things (IoT)
		181	50 (MENA) "Data is the New Oil": Shaping the Digital Economy of MENA
		192	16 What's the right age to start digital education to the future generation?
		196	282 Biometrics and identity in the Global South
		197	15 Learnings from Multistakeholder Collaborations in Cybersecurity Response and Capacity Building
		220	162 Towards a Digital Geneva Convention?
		229	246 (MENA) Freedom of Expression on the Internet and its contribution to human development in MENA
		235	140 (MENA) Arab IGF Debrief
		247	42 (APR) Internet of Things for Smart City: Green and Sustainability

2017年国連IGF: 第二回MAG会合(4)



■ 6月14日(3日目):MAG会合 (MAGメンバーによる議論)

⇒ワークショップ提案書の議論継続、メインセッション、国別・地域別イニシアティブ(NRIs)の議論

①ワークショップ提案書

- ・再検討の結果、
(1) 8件が追加採用
(2) 2件がWaitlist入り
(3) 23件が条件付採用

・最終審査結果が[IGFウェブサイト](#)で公表

②メインセッション提案書

- ・ホスト国(スイス)による
メインセッションの構成提
案について議論

・残り5枠に、7件のうちど
のメインセッション提案書
を割り当てるか議論

結論は出ず電話会議へ

③国別・地域別イニシア ティブ(NRIs)

- ・NRIs関連セッションのプ
ロセスについて議論有

・NRIsのメインセッションや
テーマ別ワークショップに
関する議論

結論は出ず電話会議へ

【参考】メインセッションの構成(スイス政府提案に基づく)

テーマは「Impact of Digitalization on Politics, Public Trust and Democracy」に決定。

TIME	DAY 1 Mon 18 Dec	DAY 2 Tues 19 Dec	DAY 3 Wed 20 Dec	DAY 4 Thurs 21 Dec
10:00 - 13:00	Main 1	HL Thematic Session	Main 3	Main 5
LUNCH				
15:00 - 18:00	Opening Ceremony (~1 hr) - HL Thematic Session: 'What rules for our global digital polity?' (~2 hrs)	Main 2	Main 4	Open Mike - Taking Stock - Closing Ceremony

****IN 2016: 8 MAIN SESSIONS - 4 x 3 HRS / 4 x 1.5 HRS**

■ 7月5日:MAG電話会議(MAGメンバーによる議論)

⇒メインセッション、国別・地域別イニシアティブ(NRIs)を主に議論

1. ワークショップ提案書最終審査結果の公表について

⇒Waitlist入り提案書については8/9までに連絡、条件付採用の提案書については条件提示IGF事務局、8/20までには最終スケジュール案を提示

2. 国別・地域別イニシアティブ(NRIs)の各種セッションについて(Focal PointはIGF事務局)

⇒NRIsからの要求(180分のNRIsメインセッションと6-12件のコラボラティブセッション)
前者は承認、後者はMAGワーキンググループでさらに検討されることを条件に6件で承認

3. メインセッションについて(空きは5枠)

⇒Cybersecurity(3h)、Gender(2h)、Digital Economy(3h)、Technical Subject(3h)の4テーマを4枠に当てる議長提案採用、残りの1枠をダイナミックコアリッション(DCs)(1.5h)とNRIs(3h)に。但し今のままでは時間が足りないため、今後コストを含めIGF事務局が確認予定。

4. 次回MAG電話会議に向けて

⇒Day 0のイベント、リモート参加等について議論を行う予定。

收拾つかず議長押し切り!

2017年国連IGF：第二回MAG会合総括(1)

■ 第二回MAG会合とフォローアップ電話会議を振り返って(前者は初参加)

1. ワークショップ

- ・MAGメンバーとして50件超の採点：かなり高い完成度が求められる印象(内容、登壇者、etc.)
- ・「Wild Cards」プロセス等、明示的なルールのない手続が存在：公平性の担保が必要
- ・セクターや地理的不均衡の是正：各セクターや地域からの良質な提案書の提出を増やす必要

2. メインセッション

- ・数が限られているため、各MAGメンバーの思惑が衝突(ホスト国の構成提案にもけん制)
- ・望月がリードを務める、デジタル経済に関するメインセッション(①ビジネスセクターコミュニティと②スイス政府の合同開催)については、無事3時間の枠を確保

3. 国別・地域別イニシアティブ(NRIs)に関する各種セッション

- ・NRIsの国連IGFへの参加を強化することについては異論なし
- ・他方、「NRIsは自律的なもの」とはいえ、そのIGFでの各種セッションにつきいわば「セパレート・トラック」とすることにつき、ビジネスセクターを中心に懸念や明確化を求める声

■ 第二回MAG会合とフォローアップ電話会議を振り返って(前者は初参加)

(1) 会合の難しさ

- ①二次審査(各MAGメンバーによる書類
審査・採点作業)の結果
- ②IGF事務局作成の統計情報
- ③一部MAGメンバーによる過激な発言
(在ジュネーブ中国代表部参事官・[Ji Haojun](#)氏)

(2) MAGとNRIsの間のジレンマ

- ① ビジネスセクター(国際商工会議所
(ICC/BASIS))推薦のMAGメンバー
+
- ② アジア太平洋地域のインターネットガ
バナンスフォーラム(AprIGF)・マルチス
テークホルダー運営グループ(MSG)メン
バー
||
- ③ NRIs関連セッションの議論の難しさ

【参考】IGF事務局作成統計情報から抜粋

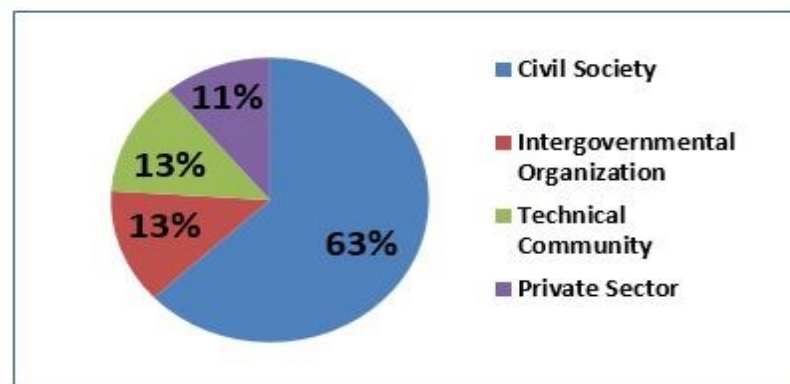
Top 72 Proposals Stakeholder and Regional Groups

■採用された上位72件のワークショップ提案書の詳細

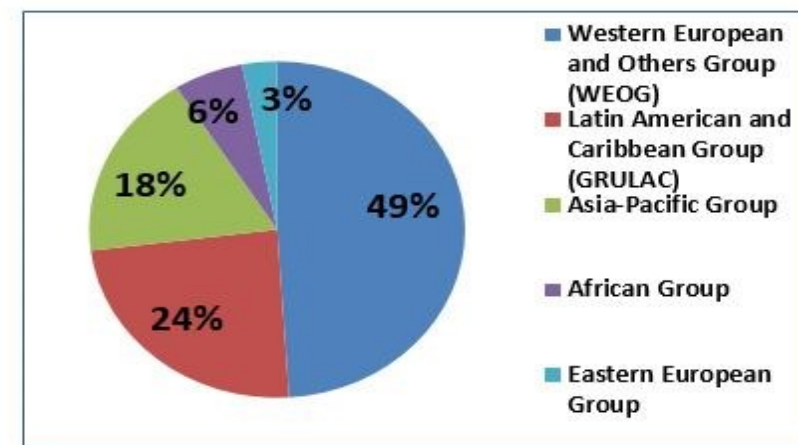
(1)主催者の63%が市民社会だが、登壇者は？

(2)主催者の49%が西ヨーロッパ地域(WEOG)からであるが、登壇者は？

※「主催者」という視点から見れば偏っているが、さらなる分析が必要。そもそも、MAG採点基準に「多様性」が入っている。



Stakeholder Group	# of Proposals	% of Proposals
Civil Society	46	63%
Intergovernmental Organization	9	13%
Technical Community	9	13%
Private Sector	8	11%



Regional Group	# of Proposals	% of Proposals
Western European and Others Group (WEOG)	35	49%
Latin American and Caribbean Group (GRULAC)	17	24%
Asia-Pacific Group	13	18%
African Group	5	6%
Eastern European Group	2	3%

(1) Japan IGF(国別・地域別イニシアティブ(NRIs)関連セッション)

(2) WS #14: [Internet Governance 2017: Realizing SDGs through Policies Enabling Digital Trade](#)(ワークショップ: 野村総研・横澤誠氏ご登壇)

(3) WS #91: [Policy Challenges for AI Development](#)(ワークショップ: 望月登壇予定)

(4) WS #141: [Equipping populations with the skills to shape and secure their digital future](#)(ワークショップ: 望月登壇予定)

+α. デジタル経済に関するメインセッション(3時間) ※登壇ではないと思うが, 望月リード。

参 考

2017年世界情報社会サミット(W SIS)フォーラム



- 世界情報社会サミット(W SIS)フォーラムは、国際電気通信連合(ITU)が、国連教育科学文化機関(UNESCO)、国連貿易開発会議(UNCTAD)、国連開発計画(UNDP)と共催する国際会議。
- 11のWSISアクションラインの進捗状況の報告・情報交換を行うことを目的とし、世界各国の利害関係者が参加可能な会合として毎年開催。

☆成果についてはこちら。

開催期間

2017年6月12日～16日

開催地

スイス・ジュネーブ（国際電気通信連合（ITU）本部 & 国際会議場（CICG））

アジェンダ

https://www.itu.int/net4/wsis/forum/2017/Content/docs/agenda/WSISForum2017_Agenda.pdf

日本政府主催
ワークショップ

- 6月15日「[Innovating Together: How to Utilize ICT for Achieving SDGs?](#)」
 - ・持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、いかにして情報通信技術（ICT）を活用するかにつき、日本企業の実例を紹介
 - ・富士通、古河電工、日立、三菱電機、日本電気（NEC）、日本電信電話（NTT）が登壇

Yahoo! JAPAN登壇
ワークショップ

- 6月16日「[Promote the Development of Internet & Mobile Internet Information Accessibility](#)」
 - ・パソコンやモバイルベースで情報にアクセスしやすくなるような環境整備の進捗状況について議論し、また参加者間で意見交換を行うことを目的
 - ・中国インターネット協会（ISC）が主催、Yahoo! JAPANはウェブアクセシビリティの取組を紹介

2017年世界情報社会サミット(W SIS)フォーラム



日本政府主催ワークショップの様子
(ITU Pictures(Flickr)から引用(© ITU/R.Farrell))



Yahoo! JAPANが登壇したワークショップの様子
(ITU Pictures(Flickr)から引用(©ITU/D.Woldu))

Thank you!

Kenta Mochizuki, *Attorney at Law (New York)*

Public Policy, Corporate Intelligence

Yahoo Japan Corporation

Kioi Tower, Tokyo Garden Terrace Kioicho,
1-3 Kioicho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8282

Japan

E-mail: kemochiz@yahoo-corp.jp

<https://publicpolicy.yahoo.co.jp>

